

各研究部の取組

1 授業研究部

～和中版アクティブ・ラーニング型の授業における能動的な学修をさせる～

①生徒アンケート「和中版アクティブ・ラーニング型の授業は自分にとってよい」における肯定的に答える割合を90%以上にする。

②生徒アンケート「授業内容は理解できる」における肯定的に答える割合を90%以上にする。

～教えあいや他者と協力して学習に取り組む意欲を高める～

①生徒アンケート「人に教えたり教えられたりすることについて」における肯定的に答える割合を85%以上にする。

(1) 和中版アクティブ・ラーニング型授業

本校では、原則として、5教科における1時間の授業の流れを統一した。(実験、演習等は除く)
また、実技教科においても、アクティブな場면을授業の中に取り入れることを意識した。

ステップ1 教える(20分)

① 板書やノートもなく時間の効率化を図り、アクティブの時間を確保する。

- ・時間節約のため、授業が始まる前に、生徒各自でプリント(授業・練習プリント)をとり、リフレクションカード(振り返りカード)も返却しておく。
- ・号令が終わると同時に、授業スタート、本時の目標と流れを把握させる。
- ・時間の効率化にはパワーポイントの利用が有効。
- ・この説明では全員が分かる必要はないと思ってよい。

ステップ2 アクティブ(20分)

① 質問、立ち歩き自由で問題演習に取り組む。

② 仲間と一緒に学び、対話を通してお互いの力を発揮し協力して学ぶ。

- ・問題演習プリントの課題が最重要であり、しかけを仕組んでおく。
- ・この場面では最初に必ず活動時間を知らせておく。
- ・集中して取り組んでいるか、しっかりアンテナをはると同時に、意欲的で活発な雰囲気を作るための全体への声かけをしていく。
- ・グループ、個人に対して適切な介入をする。その際、結論を教えるのではなく、どのようにすればわからないことが解決できるかを助言する。

ステップ3 小テスト・まとめ

① 小テストに取り組む。全員が満点をとることが目標

② リフレクションカードを記入する。目標をもとに振り返る。

- ・小テストの状況を把握し、その時間内や次時の声かけの材料にする。
- ・リフレクションカードでは、その授業についての生徒の思いを把握し、次の授業につなげる。



< 2年数学の指導の流れ >

過程	指導内容	学習活動	時間	教材	評価(観点) (評価方法)
教 え る	・目標を説明する	・本時の目標を把握する	一 時	プロジ ェク ト	内容目標：連立方程式を利用し、割合に関する問題を解くことができる。 ・割合に関する練習をさせる ・例題を考えさせる ・立式をさせる
	・割合に関する練習をさせる	・割合に関する練習をする	一 時	授業プ リント	
	・例題を考えさせる	・例題を考える	一 時	プロジ ェク ト	
ア ク テ ィ ブ	・練習プリントに取り扱わせる	・練習プリントに取り扱む	グ ル ー プ	練習プ リント	・連立方程式を利用し、割合に関する問題を解くことができる。(枚数練習プリント、小テスト) ・十分満足できると判断される状況 スムーズに連立方程式を利用して割合に関する問題を解くことができる 協力を要する状況への手立て 授業プリントを見たり、仲間に関けるよう支援する
	・解答を配布し、自己採点させる	・解答を見て自己採点する			
小 テ ス ト ・ ま と め	・小テストに取り扱させる	・小テストに取り扱む	個 別	小テス ト	個別 リフレク ション カード
・本時の振り返りをする。	・リフレクシオンカードを記入する。				

ステップ1 教える

ステップ2 アクティブ

2年数学 第2章 連立方程式 2節 連立方程式の利用

今日の目標

2年数学 課題プリント(2-10)

【めあて】 連立方程式を利用し、割合に関する問題を解くことができる。

- 次のそれぞれの問いを、連立方程式を利用して解きなさい。
 - ある中学校の昨年度のバスケットボール部の部員数は、男女合わせて60人でした。今年が昨年と比べて男子は10%増し、女子は16%減ったので、男女合わせて44人になりました。昨年の男子と女子の部員数は、それぞれ何人ですか。また、今年の男子と女子の部員数も求めなさい。
 - ある中学校の2年生は、男女合わせて46人だった。今年度は昨年度とくらべて、男子の20%増し、女子は10%増えたので、男女合わせて61人になった。昨年度の男子、女子の人数をそれぞれ求めなさい。また、今年の男子と女子の人数も求めなさい。
 - 2つの商店A、Bがあり、定価はAの方がBより200円高い。大売り出しの日に、Aは定価の3割引きに、Bは定価の1割引きにしたので、売り値は同じになった。A、Bそれぞれの定価を求めなさい。

例題のたしこ

$$\begin{cases} 0.8x & 0.7y & x+y=3100 \\ & & 0.8x+0.7y=2300 \end{cases}$$

ステップ3
小テスト・まとめ

2年数学 小テスト(2-10)

【めあて】 連立方程式を利用し、割合に関する問題を

- ある学校の昨年度の生徒数は男女合わせて90人だった。今年が10%増加し、男女合わせて96人になった。昨年度の男子、女子、また、今年の男子、女子の人数も求めなさい。

リフレクションカード 教科()

()年 氏名()

【態度目標】 シャベる、質問する、説明する、動く、チームで協力する、チームに貢献する
【内容目標】 授業の最初に提示します

リフレクションカードの書き方

- 態度目標について振り返る(A, B, C)
 - 内容目標について振り返る(A, B, C)
 - 以下の項目について振り返る(最低、②と③は記入して(ない)。他の項目は電(内容がある時だけよいです。)
- ①どんなふうに学べたか ②他の人と話し合ったか ③授業の理解度
④授業へのリクエスト ⑤グループ分けはどうか ⑥その他あれば...

月日	記入欄	チェック

(2) 研究授業

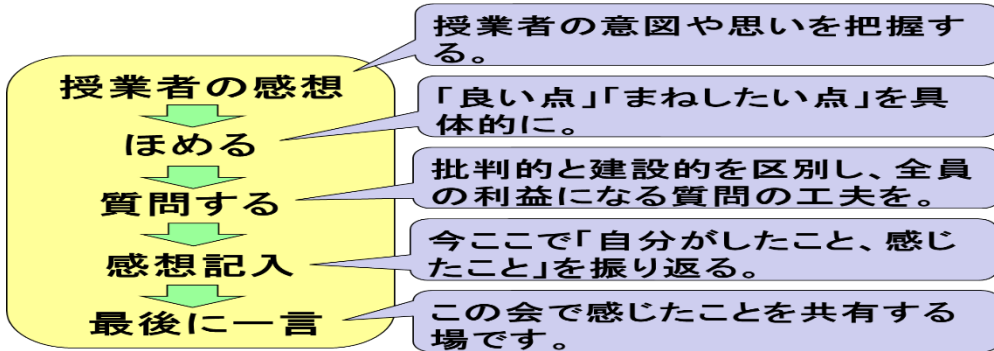


授業参観



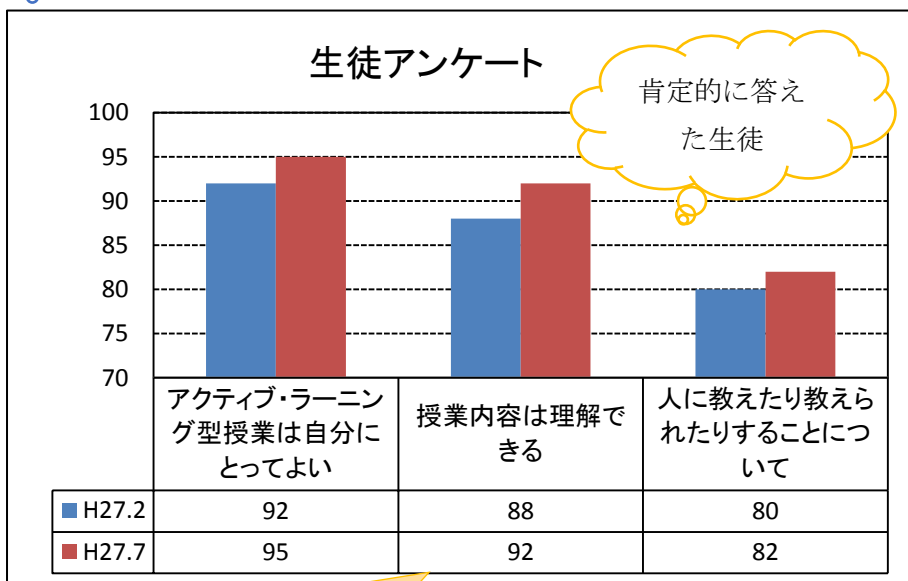
振り返り会

振り返り会の流れと留意事項



- ・全教職員が参加して実施する **全体研修**
- ・4人程度のグループ毎に実施する **グループ研修**

効果



現2, 3年生 昨年度2月と今年度7月との比較
どの項目も肯定的に答えた生徒の割合は増加した。

- ～リフレクションカードより～
- ・自分の下手な説明でもしっかり聞いて分かってほしい。もっと分かりやすく説明できるようにしたい。
 - ・分からないところをすぐに他の人にきけるところが良かった。
 - ・ボーッとしている時間が減って、授業を理解することができた。
 - ・目が覚めるし、たくさん練習問題ができる。
 - ・グループで説明しながらでき、説明することで自分もよく分かった。